

S S R I

ち ょ つ と 一 言

G i v e m e a b r e a k !

Aegis Ashore の計画停止について

藤岡智和

河野防衛相が Aegis Ashore の計画停止を発表したことで大騒ぎになっているが、私は以下の代替処置がとられるのであれば計画停止の決定に賛同する。

当面の代替処置は防衛計画大綱と中期防衛計画に示されている「陸上配備型 Aegis システム 2 個隊」を「能力向上型 Aegis 艦 2 隻」に書き換えることである。

米海軍は Arleigh Burke 級 Aegis 駆逐艦最新型 Flight III の建造を 2023 年完成を目指して進めている。Flight III では現有の Flight I / II / II A と異なり、現在日米で共同開発中の SM-3 Block II A の装備を前提にしている。このためレーダは今までの AN/SPY-1D に代えて GaN 素子を採用し捕捉距離を恐らく 2 倍にした AN/SPY-6 を装備する。

海上自衛隊の Aegis 艦はこんごう型が Arleigh Burke 級 Flight I、あたご型が Flight II A を元にしているので、折角 SM-3 Block II A を装備しても、必ずしもその能力全てを発揮できない可能性がある。

そこで速やかに「大綱」と「中期防」を修正して、令和 3 年度予算に「陸上配備型 Aegis システム」に代えて Flight III 同等 Aegis 艦の建造を計上する必要がある。

次に中長期的な対策で、米軍では現在グアムや韓国に配備している #THAAD を改良して射程と射高を 2 倍にする THAAD-ER 計画を進めていて、胴径を現在の 14 吋から SM-3 Block II A 並の 21 吋に大型化した THAAD の発射試験を 2023 年に開始する計画である。THAAD-ER であれば SM-3 Block II A に匹敵する性能が期待できる。

更に THAAD は Aegis Ashore と違い移動型であるので、沖縄を含む全国に起動展開でき、もし北朝鮮が SLBM を完成させて太平洋側からわが国を攻撃する可能性が出てきても対応できるようになる。（2020 年 6 月 17 日）